

むすび

以上、この「提言」では最低賃金制にかかわる諸問題を取り上げ、今後の運動が進展すべき方向性について指摘してきた。分析した領域は多岐にわたるが、それらは現在の政権、財界が行っている政策とは明らかに「真逆」の展望である。そもそも大企業本位の政策ばかり続ければ、日本は浮かばれない。

働く労働者の労働こそ富の源泉であり、正規・非正規の区別なく、労働者を大切にする社会にすべきこと、中小企業・零細企業の地域経済における存在価値、創造力、活力、雇用維持機能、地域環境維持機能に視点を向けること、地域活性化の大前提としては当該地域に健全な雇用と安定した賃金が保障されなければならないこと、個別地域でそれが困難ななかでは、賃金面での制度として現状のような狭隘な県単位を超えた全国一律最賃制を導入し、最賃の地域格差をなくし、日本国内のどこでも最低限の生活ができる最低限賃金を保障させること、関連して生存に必要な社会保障給付をどこでも誰にも保障すること、それを前提として「ディーセントワーク」（人間らしい働きがいのある仕事と生活）の実現のために、「同一労働同一賃金」、非正規の正規化、男女差別撤廃、労働時間の短縮、サービス残業の撤廃、有給休暇の拡大、育児休業、介護休業の保障などにより「仕事と生活の調和」を図ること、などの政策が併用されるべきである。

これらは、現在流行している新自由主義政策による市場原理主義、「弱肉強食主義」との対

抗関係となる。大企業や富裕層への富の偏在化をもたらしたのは、株式など金融資産の取得やそこでの高額配当の利得、役員報酬の膨れ上がり、膨大な内部留保の積み上げ、法人税の引き下げ、人件費切り下げ、単価の引き下げなどをみれば一目瞭然であろう。それが「世界で一番企業が活躍しやすい国」を標榜する安倍内閣の政策であり、その中で、貧困や格差が広がっているのである。

市場原理主義者たちが巧みに使う「市場万能」「自己責任」「勝ち組・負け組」などを乗り越え、非差別、労働と生活の健全性が生産性を向上させること、経済の好循環をもたらすカギは国内需要、なかんずく消費需要であることの再確認、大企業偏重政策をやめ、労働者と中小企業の産業、雇用、労働と生活を健全に発展させること、そのことがGDPの増加にもつながるという確信が重要になる時代である。

ここでの提言は、当面全国一律時給1000円以上を直ちに、を前提としたが、むしろ時給1500円を展望している。

そのためには、第1に、アメリカの15ドル運動で行われている労働運動と市民の共闘に学び、最賃問題も地域の運動課題とすることや、労働組合相互間の共同、一般住民への理解を広める課題がある。日本では平和問題や、社会保障問題などと違って労働問題は地域の運動には簡単にはなりがたいものの、地域の労働者・住民、とくに息子・娘には必ず低賃金不安定労働者がいる。また、高齢者の貧困も増えその非正

規就業も増えている。生活不安とともに将来不安は多くの住民の中にあり、地域の労働組合などのアピール次第で変革の可能性がある。同時に、公契約適正化、公務の地域手当問題の解決とともに、最賃の引き上げが当該地域の中小企業製品の需要を促進し、地域間の好循環や地域活性化になることを、地域独自の課題と結合して展望することも必要であろう。

第2は、中小零細企業とそこでの労働者が大企業・多国籍企業の収奪に直面しているなかで、安倍内閣が提起している消費税10%増税は低額所得者の生活苦を広げ、物価上昇による労働者の実質賃金低下や中小業者を苦しめ、法人税のさらなる減税、輸出大企業に多額の「輸出還付金」⁴²⁾ もたらを齎し、また、「全世代型社会保障」も社会保障費の削減、労働者・業者への負担強化により可処分所得を低下させ、貧困や格差を加速化させる。これらとの反対運動と結合し、最賃運動は中小企業との共同の課題となる。公正競争対策、政府助成金の改革、社会保

険料の減免措置など中小企業対策を併行して実施することは「全国一律直ちに1000円」、「時給1500円」の運動を中小企業に周知させる課題となろう。そのさい、韓国の運動はさまざまな示唆を与えてくれるであろう。

第3は、最賃制の課題における野党共闘、政権構想である。「アベノミクス」の破綻、大企業・富裕層には至れり尽くせりの政策、このツケを労働者・中小業者、市民にかぶせる「ゴマカシ」の政策は衆目に露呈されてきている。「森友・加計問題」など真相をほおかむりする政権の行動など、露骨な民主主義否定行動が現政権で起きている。その一方で、野党の側での選挙での躍進が続いている。地域の疲弊、貧困と格差の広がりにおいて、最賃制の問題も野党の共通の課題であり、それをキャンペーンすることによって、全国一律最賃制の法制化、時給1500円の展望を具体的に実現させる機運を醸成させる展望が求められるであろう。